

キャラクター名

イービス

プレイヤー名

メインクラス	ナイト	Lv.1:	ウォーリア	レベル	10
サポートクラス	バートル	Lv.1:	ダンサー	性別	女
称号クラス				年齢	21
種族	エクスマキナ			境遇	放浪者
出自 (効果)	騎士			目標	無目的

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運		
基本値	26	19	9	9	8	15	6	HP	116
ボーナス	8	6	3	3	2	5	2	MP	74
クラス修正	2	2	2	0	0	2	0	フェイト	5
他修正									
能力値	10	8	5	3	2	7	2		

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ブロードソード	至近	-1	8	0	0	0	-1	0
左手	ハイクオリティシールド		0	0	0	5	0	-1	0
頭部	スーツアーマー				-2	10			-3
胴部	スーツアーマー								
補助									
装身具									
能力値			8	0	5	0	7	7	15
スキル									
その他									
総計(右)			7	8	3	15	7	5	12
総計(左)			8	0					
総計(両)									
ダイス数			3 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数	所持品	
トラップ探知	2			2	+ 2 d	MPポーション×11	
トラップ解除	8			8	+ 2 d	野菜×10	
危険感知	2			2	+ 2 d	ハイMPポーション×2	
エネミー識別	3			3	+ 2 d	解毒薬×2	
アイテム鑑定	3			3	+ 2 d		
魔術判定	3			3	+ d		
呪歌判定	7			7	+ d		
錬金術判定					+ d		
現在重量：							
最大重量：						所持金：	-490
						預金・借金：	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
チューニング	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：能力基本値をふたつ選択し、キャラクター作成時に、選択した能力基本値の片方に+4し、もう片方に-1								
バッシュ	5	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果：武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]								
カバーリング	★	2	ダメ前	至近	単体	-		
効果：行動消費無しでカバー								
ディフェンダー	5	3	マイナー		自身	-		
効果：物理防御【+SL×3】								
カバームーブ	3	4	K R 同時		自身	-	シーンSL回	
効果：カバーリング射程増加								
ステップ：アース	3	5	セット	-	自身	-		
効果：物理、魔法防御+SL×3								
エンカレッジ	★	6	イニシアチブ	20m	単体	-	シーン1回	
効果：イニシアチブにメインを行う								
	1	2	カバーリング	-	自身	-	シーンSL回	
効果：物理、魔法防御に+【防具の重量】								
ボルテクスアタック	★	-	特殊	-	自身	-	シナリオ1回	
効果：攻撃と同時に、ダメージ+【CL×10】								
アームズマスタリー：長剣	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：命中+1 d								
	1							
効果：								
	1							
効果：								
エンラージリミット	1							
効果：								
アスレチック	1							
効果：								
効果：								

出来れば両手に盾を持っているとして扱ってほしい。刀装備は盾の両手持ちが意味なかったからやってる。

・詳細設定
[イービス]はコードネーム。本名はミネルパ。

騎士の家系に生まれながら、彼女は体が弱かった。
男児が欲しかった両親は、彼女を男として育て上げた。彼女は、必死になって両親の期待に応えようと努力した。体は弱いながらも、確かな才能を持っていた。だが彼女が9歳のころに弟が生まれた。それから、彼女はいないものとして扱われ続けた。それでも彼女は努力を続けた。愛されるためには、居場所を守るためには、これしかなかったから。
18の時、彼女は実験材料としてある研究所に売られた。両親は嫁がせるよりも、その存在そのものを消し去ってしまいたかったから。そして彼女は、サイボーグの数少ない成功例となった。思い通りに動く機械の体に、努力によって鍛えられた人間の技術。その二つは彼女を絶大な戦力となしえた。己の身を守るため、自分の居場所を守るため、彼女は戦場にて兵器として活躍した。そうすれば、自分の居場所を守れると信じて。
その数年後に研究室は摘発され、彼女も身柄を保護された。その戦闘能力を買われ、ある人物に拾われて騎士として活動するようになった。再び彼女は戦場にて戦った。ただ、自分の命を、居場所を守るのに必死だった。彼女にとっては、自身が機械であろうと人間であろうと意味はない。大切なのは、己がまだ戦えるということだけだった。戦い続ければ、守れるのだとそう信じ、ひたすらに戦い続けた。
しかし、最後まで戦い続けたその果てには、何も残されなかった。国は滅び、騎士としての立場も、再び得た居場所も失った。彼女は、ただ居場所を求めて旅を続ける。放浪を続ける旅の果てには、何が見つかるのだろうか・・・